地域福祉施設送迎リソースシェア展開事業｜　一般社団法人ソーシャルアクション機構

プロジェクト概要

宮城県名取市（一部仙台市）において、介護施設の送迎車両やドライバーを地域の共有資源として活用し、複数施設による「共同送迎」を実現するプロジェクトである。
また、介護施設・自治体・IT事業者が連携し、共同送迎の運営モデルを確立することで、持続可能な地域交通モデルの第一歩を進める。

課題

- バス・タクシーの減少が加速し、高齢者等の移動弱者の手段確保が困難化。
- 施設ごとに独立運行する送迎車両は、既存交通の拡充では対応しきれない。
- 法人を跨ぐ共同送迎の継続には有償運行が不可欠だが、現行の道路運送法制度がその障壁となっており、制度面の柔軟な対応が必要

取組内容

- 国交省OSSをベースに、デイサービス送迎業務に必要な標準機能を追加開発する。
- 適正な費用負担モデルの策定、共同送迎のリスクに対応した保険スキーム(特約追加)を検討。

事業要件

- 標準業務モデルの導入によるサービス品質向上（標準化）

技術要件

- 施設送迎共同管理システム

効果

- 送迎業務の負担軽減により、介護サービス提供体制の維持・強化を実現し、将来的な「介護受け入れ難民」の発生を防止
- 共同送迎の運営ノウハウ、標準業務手順、保険スキームを整理し、全国の介護施設・自治体へ横展開可能な地域交通モデルとして普及を目指す。

事業実施自治体・エリア

名取市 増田地区～仙台市太白区

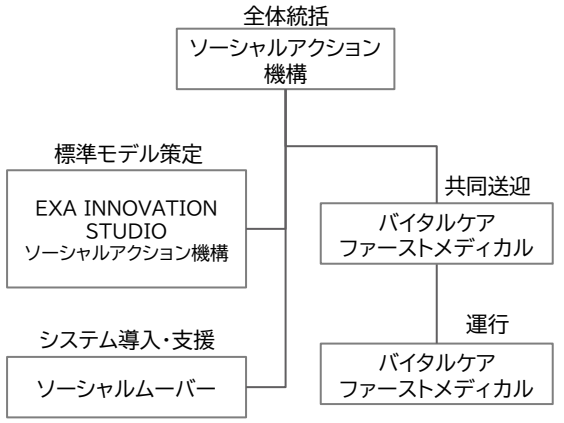
交通事業者

介護施設が送迎車両を活用：バイタルケア、ファーストメディカル

アプリ・システム等

- アプリ・システム：オープンソースソフトウェア「施設送迎共同管理システム」
- データの活用方法：業務やデータが事業者間で共通化、可視化される
- サービス品質向上（標準化）：送迎業務の属人化解消、ヒューマンエラー低減・クレーム削減

座組



スケジュール

8月～10月　要件定義

10月～12月　システム開発

12月～1月　実証運行

1月～2月　効果測定

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.